

一般質問 議：議員／理：理事者

- 安全で安心して住めるまちについて
- 会計年度任用職員について

その他の質問

- ・ 2期目に向けた公約「未来につなぐ 楽しい笑顔のまち勝山を創る」について
- ・ 「103万円の壁」について



市政会 近藤栄紀 議員



議 子どもから高齢者まで集えるコミュニティの場としてまちづくり会館の充実と、その利用をどのように考えているか市長の見解を伺う。

理 まちづくり会館は交流拠点や福祉、防災拠点として位置づけ、幅広い世代が気軽に利用できる施設を目指している。現在、高齢者向けには、サークル活動のほかフレイル予防体操やスマホ教室を実施し、生きがいの場を提供している。今後、各まちづくり会館の大規模改修を予定しており、地域住民の要望を反映するとともに、バリアフリー化を進めて使いやすい施設になるよう配慮していく。また、導入予定のAIフルデマンドバス等の運行により、会館を地域間をつなぐハブとすることで、地域コミュニティの場として充実させていきたい。

議 まちづくり会館職員は一人を除いて全て会計年度任用職員である。区長、各種団体、町民の対応、行事の企画実施など様々な業務がある。この様な中、以前のように正職員を駐在させたり、待遇改善を図ってはどうか。

理 まちづくり会館職員については、再任用職員や会計年度任用職員も含めて全ての職員を全体で捉え、適切に配置していく必要がある。まちづくり会館には今後、防災も含む様々な役割が増すため、正職員や再任用職員の配置も検討する必要があると考える。待遇改善については、令和5年度から手当を支給し、人事院勧告に基づいた給与改定も実施している。今後も引き続き、会計年度任用職員の適切な処遇に努めていく。



一般質問 議：議員／理：理事者

- 中学校は「市長選の結果を踏まえて判断する」ことについて
- 中学校建設工事の入札不調の対応について

その他の質問

- ・ 勝山市長選挙の結果から考えるべき課題について



日本共産党 山田安信 議員



議 選挙後、市長は「4年間は政策的に間違っていないと考えるが、政策の進め方や説明の方法など、もっと時間を取る必要がある」と述べているが、校舎の入札不調で着工前に話し合いをする「時間を取る」ことが可能になった。市民理解が得られない原因は、次々と指摘される問題を解決するには勝高敷地に固執しない検討が必要なのに「もう決まった」と思考停止して強行する、だから、市民の理解を得るには「勝高に固執しない検討」が必要。市長の「原因分析が間違っている」から「対策」になっていない。そうは考えないか、見解を伺う。

理 中学校再編については、市民や保護者、生徒、教職員など多くの意見を伺い、再編準備委員会や議会での協議、議会の判断をいただきながら進めてきた結果が現在の状況である。今後も市民への丁寧な説明に努め、課題解決に向けて議会や関係者の協力を得ながら、子ども達が安心安全な環境の中で充実した学校生活を送り、主体的・自主的に活動できる学校となるよう準備を進めていく。

議 「応札額は予定価格を6億円も上回っている」との指摘もあるが、①工事費は増やさない②大階段を削る等の設計変更を検討する③市民負担を増やさない、この原則を市長は堅持するか。

理 入札結果の内容は市としては公表していない。入札中止の原因の1つは資材価格の高騰や人件費の上昇である。予算内で校舎の仕様見直しを検討し、やむを得ず予算増額となる場合でも最小限となるよう努力する。設計変更では校舎面積の削減は行わず、仕様見直しを検討している。新中学校建設事業費の市の負担額は補助金を活用することで実質的に約15%であり、事業費変更時には有利な市債や補助金を最大限活用し、市の負担を最小限に抑えるように努める。